

将来の環境像の実現に向け

—南丹市環境
パートナーシップ会議—

1月13日、第1回南丹市環境パートナーシップ会議を開催しました。この会議では、昨年5月に策定した環境基本計画における将来の環境像「自然と人が結び合う、いきいき南丹市」の実現に向け、具体的な取り組みを企画、実施したり、市民の皆さんをはじめ、来訪者や事業者などの環境活動への参加促進を中心と行って行います。この日は、委員10人に委嘱状を交付し、それぞれの皆さんが意見を出し合い、今後の活動に向け議論しました。



▲第1回の会議の様子



▲事前に作成した積み木を積んで遊ぶ子どもたち
(1月22日：南丹市国際交流会館)

ものづくりの楽しさ味わい
みんなで楽しく遊んだよ!

—地域子育て創生事業「手づくり
積み木地域ふれあい事業」—

ものづくり、遊びを通じた家庭、地域のふれあいや子どもの成長を目的に、NPO法人・京都匠塾の製作指導、NPO法人・グローアップの遊び指導の下、市内4カ所で開催。初回の園部会場では、親子連れ約50人が参加し、ノコギリやカンナを使い、苦労しながらも楽しそうに積み木づくりに打ち込んでいました。会場は、積み木づくりに熱中したり、用意された約7000個の積み木を使って遊んだりする親子でにぎわいました。

産科医療功労者

厚生労働大臣表彰

おおしま かずや
大嶋 一也さん

昭和54年から30年以上にわたり、公立南丹病院において、産婦人科医師として尽力。地域の産婦人科医療を守るべく、「お産難民は絶対に出さない」という強い決意の下、日夜献身的に診療に従事してこられました。また、平成17年からは、京都産婦人科医会の理事として、京都府における産婦人科医療の発展に大きく貢献してこられました。これらの功績が評価され、1月27日、産科医療功労者として表彰されました。



障害者自立更生等

厚生労働大臣表彰

ひらい きよこ
平井 喜代子さん

平成4年から八木町身体障害者福祉協会の発展に尽力。特に、平成20年4月の南丹市身体障害者福祉会会長就任後は、住民との交流の機会を設けるなど、障がい者が社会参加できる環境整備に努められました。また、平成22年4月に開設された京都身体障害者結婚相談所南丹分室では、相談員として障がい者の良縁を支援。これらの功績が評価され、12月7日、更生援護功労者として表彰されました。

